



2014年12月24日  
在日米国商工会議所

## ACCJの次期専務理事にローラ A. ヤンガーが就任

在日米国商工会議所(ACCJ)は本日、2014年末をもって退任する専務理事サミュエル・キダーの後任として、ローラ・ヤンガー氏が次期専務理事に就任することを発表しました。ヤンガー氏の任期開始日は2015年1月1日となります。

今回の次期専務理事に関する人事発表についてACCJのジェイ・ポナゼッキ会頭は次のように述べています。「キダー氏の退任は非常に残念ですが、ヤンガー氏が次期専務理事に就任されることを心より歓迎します。ヤンガー氏のACCJに関する深い知識やACCJにおける優れた財務・運営管理の経験、メンバー増加への貢献、そしてビジネス界での強い存在感などを通じて、ACCJのさらなる躍進とメンバーへのより高品質なサービスが提供できる新たな時代を牽引すると期待しています。ヤンガー氏が、ACCJのミッションのより一層の飛躍と日米のステークホルダーとの関係強化に貢献できると信じています」

キダー氏の後任人事は5ヶ月間におよび、ヤンガー氏は米国政府や貿易協会、非営利組織(NPO)や商工会議所、民間企業経験者から成る59人の候補者中、最も優れた候補者として選出されました。

ヤンガー氏は、次期専務理事就任について次のように述べています。「ACCJの次期専務理事に就任できることを非常に光栄に思います。ACCJ内外の数多くの関係者と協力し、ACCJの役割や存在感をさらに高める努力をすると共に、そのミッションである日米の経済関係のさらなる進展と日本における国際的なビジネス環境の強化に積極的に取り組んで参ります」

### 次期専務理事ローラ・ヤンガーについて

ヤンガー氏は、ACCJにおける過去10年間の在職期間中、副専務理事を5年半務め、メンバーシップサービス・アソシエイト・ディレクターやプログラムス・デベロプメント・マネージャーなどを歴任しています。同氏は、マギル大学から経営修士号(MBA)を取得し、ACCJに入所する以前は、日本企業の人事ディレクターなどを務めました。

ヤンガー氏は、多岐にわたるビジネス交流会での活動にも携わっており、そのエネルギーや熱意、ACCJメンバーシップの価値向上に対するコミットメントが、組織の価値をさらに高めると期待されます。

専務理事はACCJの日々の業務の管理責任者であり、ヤンガー氏は職員の監督管理や運営管理、外部との調整など、理事会を代表して進めます。また、運営管理に関する指針や理事会の政策決定とその実行、戦略的計画立案の補佐、そしてACCJを代表して外資系・日本企業を中心とするビジネス界や所外への対応などの役割も担います。

以上

# # #

**1409 J****—在日米国商工会議所について—**

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外国経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

**【お問い合わせ】**

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室（電話: 03-3433-6542; メール: [external@accj.or.jp](mailto:external@accj.or.jp)）までお願いいたします。